



令和6年2月6日(火)

四中だより

2月号

調布市立第四中学校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu4/>



心だっとかぜをひく

校長 佐藤 政彦

人の心は、時々かぜをひきます。誰にだって、心が苦しいときがあります。私たち大人でも同じです。かぜをひいた心は、時間とともに変化をしていきます。決して、同じ所に留まることはありません。苦しさが一生続くことはありません。かぜをひいた心は、必ず元気になる力をもっています。あせらずゆっくりと、心のパワーを回復させていけばいいのです。

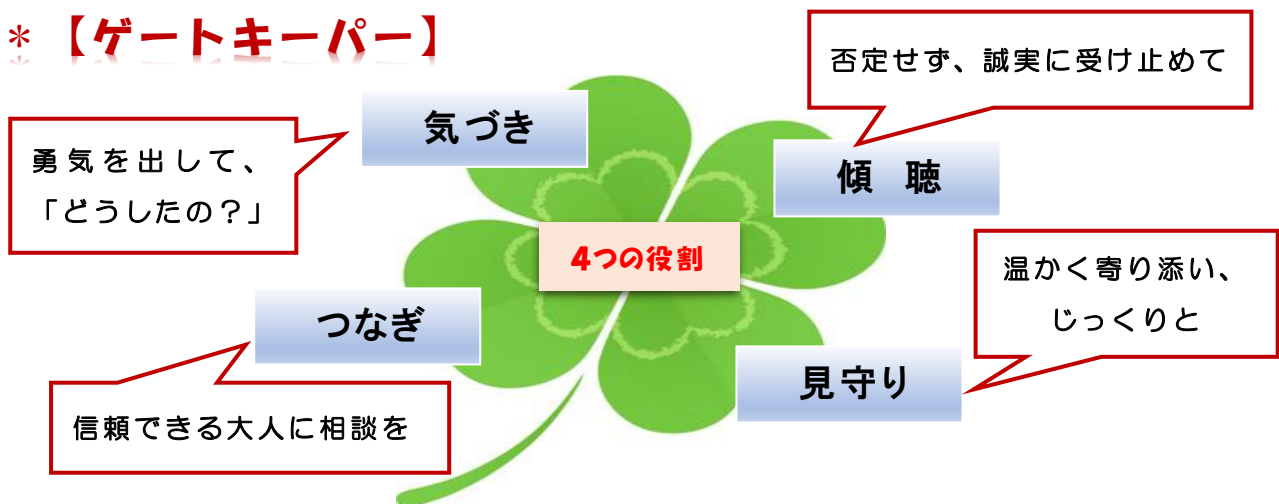
あなたの周りに心のかぜをひきかけている人はいませんか？

そんなときは、あなたがゲートキーパー(*)となり、友だちを支えてください。「何かあった?」、「なんか元気がないね」と、声をかけ、話を無理やり聞き出そうとはせず、「よかったら話してみて」と、そっと寄り添う姿勢で語りかけてください。その際、なるべく質問は控え、誠実に受け止める姿勢を意識するとよいでしょう。

もし、友だちが SOS を出してきたとき、自分たちの力では解決できないこともあります。「命」に係わる SOS の場合はなおさらです。そのときは、友だちの危機に適切に対応できるよう、信頼できる大人へとつなげることが重要です。家族、先生、スクールカウンセラー、学校スタッフ、誰でもいいので、早めに相談をしてください。

友だちの心のサインに気づき、優しく寄り添い、お互いが相談しやすく、支え合える、温かい学校を目指していきましょう。2月はふれあい月間です。誰かにつながっているという感覚が、心のかぜを予防します。

* 【ゲートキーパー】



“さわやかで熱い移動教室” (『副校長見聞録』♡)

「うわー。明日から現実に戻るの嫌だ〜。」

「もっと、滑りたいです。だめですか!?!」

2024年1月31日(水)~2月2日(金)の3日間、長野県の木島平スキー場で行われた1年生の移動教室。2,3年生は昨年同時に行いましたが、その時のことを懐かしく思うのではないのでしょうか。



実行委員長の言葉に「楽しむ=一人一人が全力で」とありました。この3日間、まさにそれを体現した行事でした。未経験者に近い生徒が大半の中で、最終日にはほぼ全員がしっかりと自分のシュプールを描いていましたね。技術的な向上は、きっとそれぞれの自信に繋がったに違いありません。

そんな上達スピードもさることながら、私が何より四中生を誇らしく思ったことがありました。

「開校式がこんなにスムーズに始まるなんて・・・。生徒さんたちが自主的に声掛けて集まるなんて素敵ですね」(木島平の村長さんより)

「休み時間に、僕を気遣ってくれましたよ。先ほども、『この後もよろしくお願いします』と言われました。あんまりこういった経験ないですよ(笑)」(カメラマンさん)



閉校式で伝えたこと

- ① 一人ではできない、みんなで味わえる達成感があること。そして、それができたみんなは四中をよりよくしていく可能性をたくさん秘めていること。楽しいことはみんなで共有し、辛いことはみんなでわけあうことができること。
- ② 学年の先生方はみんなのことを大好きなこと。だから、これからも安心して四中で楽しく過ごしてほしいこと。

2,3年生と力を合わせて、これからも“さわやかで熱い四中”を作っていきます。

四中生の熱い軌跡 (色々な活動結果報告)

全国人権作文コンテスト東京大会 優秀賞

2年 さん

2年 さん

吹奏楽部：東京都中学校アンサンブルコンテスト木管三重奏銀賞



『幸せのクローバー🍀見つけ“隊”』

・日本文化を楽しむ「1,2年生による百人一首大会」

みんな一生懸命参加していました。真剣なまなざしが素敵★

・一足早い桜の季節🌸。3年生の中には進路を勝ち取った人も。

おめでとうございます! 3年 one チーム! 桜よ、続け!

・移動教室から帰ってくると、沢山の先生方のお出迎えも・・・(笑)

・大雪予報前日・・・「明日雪かきに早く来ていいですか。」素敵男子バレー部♡

地域の方に言われた「ありがとう」。心が温くなる朝でした。先生方もありがとう。

